

## 建築科 伝統建築班 組子細工講習 第一回目

本校建築科3年生の課題研究の授業では伝統建築に関する調査、研究をする班があります。伝統建築に関する課題点を探り、解決するために3年間学習してきた建築の知識・技術を生かした活動をしています。

今回、現代の名工である藤原正さんをお招きし、日本の伝統技法である組子細工について学びました。組子細工とは、釘などを使うことなく、切り込みやほぞを入れた細い板を手作業で組み合わせて、精密な紋様を表し、1700年代に開発された伝統技法です。現在その組み方や技法は、200通り以上も伝承されているそうです。

藤原さんには、二回に分けて来校して頂き、講習をしていただく予定で、今回は一回目の講習でした。組子細工の歴史などを学ばせていただき、完成を目指して丁寧な指導を受けながら、作品を製作しました。作品は、2回目の講習で完成予定です。



組子細工や藤原さんの作品について聞いている様子



製作方法について指導を受けている様子